

平成22年3月期 第2四半期決算説明資料

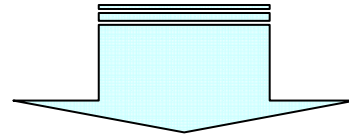
株式会社ディーエムエス



国内経済

一部持ち直しに向かいつつも、企業収益環境は依然厳しい状況。

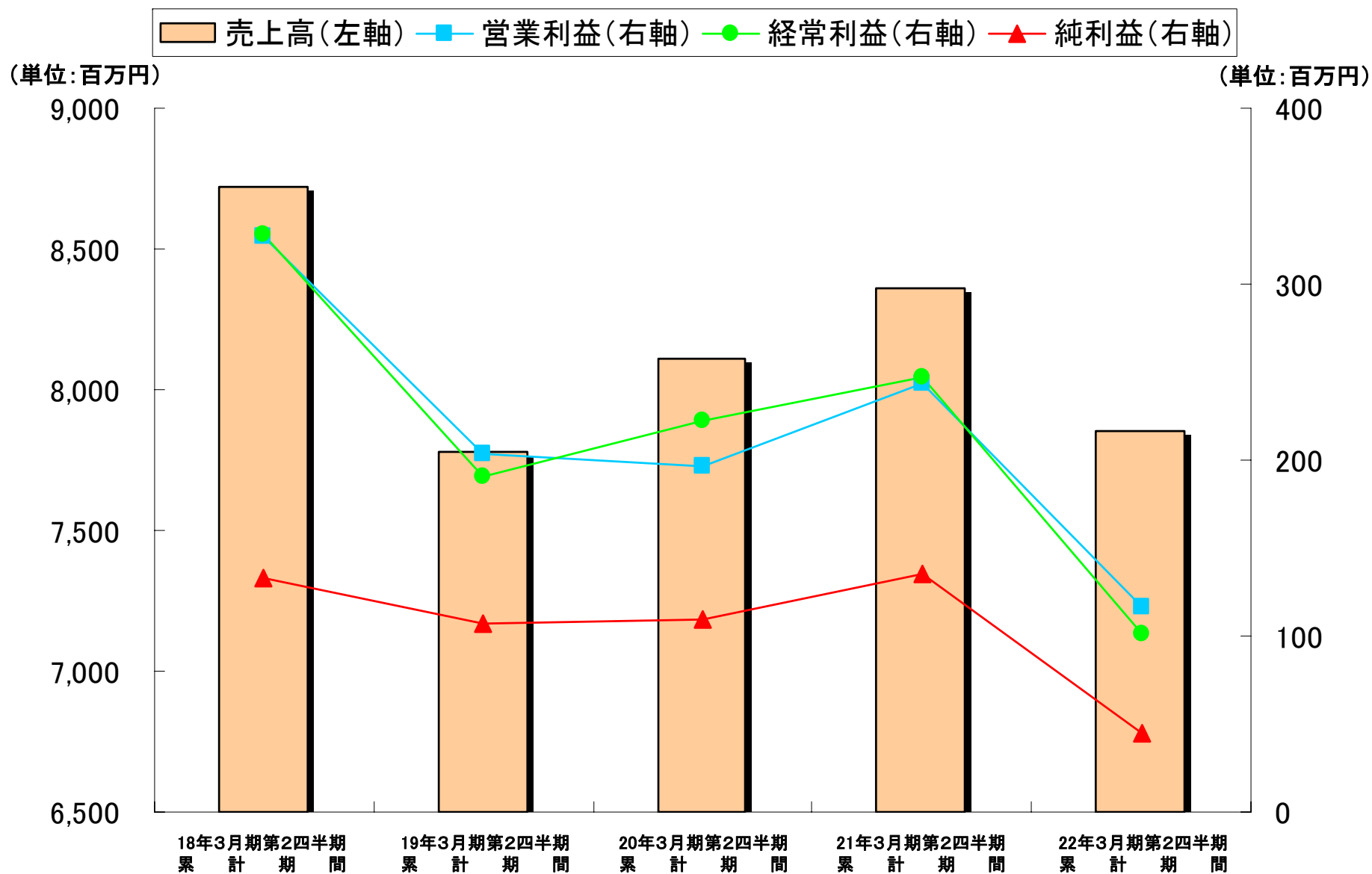
雇用・所得環境は依然厳しく、個人消費は低水準で推移。



広告業界では…

顧客企業のコスト抑制の影響により広告費が減少。
ダイレクトメール・販売促進企画においても規模が
縮小するなど、厳しい状況で推移。

過去5事業年度の主要連結財務指標の推移



平成22年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結損益計算書)

(単位：百万円)

	18年3月期 第2四半期 累計期間	19年3月期 第2四半期 累計期間	20年3月期 第2四半期 累計期間	21年3月期 第2四半期 累計期間	22年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	8,724	7,778	8,107	8,357	7,851	▲505
営業利益	327	204	197	243	117	▲126
経常利益	328	191	222	247	101	▲146
四半期純利益	133	107	109	135	45	▲89

◆要 因

売上高：既存顧客との取引拡大及び新規顧客開拓に注力するも、顧客企業のコスト抑制の影響や経営環境が厳しくなっている新規顧客との取引に慎重にならざるを得なかったことなどの原因により減収。

営業利益：売上高の減少とそれに伴う操業度低下の影響により減益。

経常利益：営業利益の減少に伴う減益。

四半期純利益：保有株式の売却益が計上される一方で、上記の各要因に加え、投資有価証券の評価損や税金費用を計上したことなどにより減益。

【総括】

トータルサービスの強みと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開する一方で、顧客企業の業績を反映したダイレクトメール発送数の縮小やコスト抑制が影響した。

(単位：百万円)

	22年3月期 第2四半期累計期間			
	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
ダイレクト メール	6,943	▲317	414	▲128
セールス プロモーション	632	▲188	34	▲11
イベント	261	▲2	3	13

平成22年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結貸借対照表)

(単位：百万円)

	21年3月期 会計年度末	22年3月期 第2四半期 会計期間末	前連結会計 年度末比	主な増減内容
流動資産	6,796	5,138	▲1,658	●現預金の減少：▲1,101 ●営業債権の減少：▲711
固定資産	6,398	6,290	▲108	●賃借物件保証金の返還：▲34 ●減価償却等による資産の減少：▲74
繰延資産	—	11	11	●社債発行費の計上：+11
資産合計	13,195	11,440	▲1,755	
流動負債	6,245	2,859	▲3,385	●仕入債務の減少：▲314 ●一年以内返済借入金の 返済及びリファイナンス：▲2,725 ●未払金の減少：▲365
固定負債	458	2,184	1,726	●一年以内返済借入金の リファイナンス：+1,321 ●社債の発行：+430
負債合計	6,703	5,044	▲1,659	
純資産合計	6,492	6,396	▲95	●四半期純利益の増加：+45 ●剰余金の配当支出：▲141 ●有価証券評価差額金：+11 ●自己株式の取得：▲11
負債・純資産合計	13,195	11,440	▲1,755	

平成22年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	22年3月期 第2四半期 累計期間	主な増減内容	(参考) 21年3月期 会計年度
営業活動 キャッシュ・フロー	438	<ul style="list-style-type: none"> ●税金等調整前四半期期純利益の計上：+83 ●売上債権の回収：+711 ●仕入債務の減少：▲314 	1,399
投資活動 キャッシュ・フロー	663	<ul style="list-style-type: none"> ●定期預金の取崩し：+899 ●設備投資：▲260 	▲582
財務活動 キャッシュ・フロー	▲1,304	<ul style="list-style-type: none"> ●長期借入金の返済：▲2,974 ●短期借入金の返済：▲170 ●長期借入による調達：+1,570 ●私募債による調達：+488 ●配当金の支払い：▲140 	▲709
現金及び 現金同等物残高	1,605	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の各要因による資金の減少：▲202 	1,849

◆平成22年3月期 通期業績予想(連結／個別)

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)
連結	18,300	0.9	430	▲40.9	410	▲41.9	260	▲20.0
個別	18,000	1.1	420	▲43.6	400	▲44.6	255	▲25.4

◆平成22年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金(予想) 20円00銭

企業と消費者の双方向の情報交換を実現する ダイレクトコミュニケーションの先進企業として

- 業務センターを中核とした生産体制の効率化と内製化促進
- 最新IT技術を駆使した各種機能の拡張と高度化によるトータルサービスの充実
- 新商品開発や提携戦略による業務領域の拡張と競争力の向上
- 汎用性を高めた情報処理および物流加工運営システムを展開しての周辺業務領域への進出
- 個人情報を中心とする機密情報管理の徹底

などを主要テーマとし、業界先進企業にふさわしい強固な収益基盤を構築してまいります。

単元株式数の変更について

当社は、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることで、当社普通株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図ることを目的として、平成21年4月1日より、1単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

自己株式の取得について

当社は、当第2四半期累計期間において自己株式の取得を下記のとおり実施しましたので、お知らせいたします。

取得内容

- | | |
|-------------|-------------|
| ●取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ●取得した株式の総数 | 29,000株 |
| ●株式の取得価額の総額 | 11,223,900円 |

業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス
(経営企画室)
TEL:03-6859-2961(代)